

私の当院におけるNo.1

呼吸器内科・外科で最年長なので当然ですが、いろいろな呼吸器疾患の昔からの診療が一番よく知っており、特に睡眠時無呼吸症候群と結核の患者さんを診た数は一番です。最新情報に遅れない努力も負けないようにしています。

私の専門分野

研修医の時からずっと肺がん患者さんを診てがん治療認定医となり、大学で睡眠時無呼吸症候群の臨床研究で医学博士を取得しました。前任地の病院では、結核病棟の患者さんをたくさん診て保健所の診査委員を務め、当院では新型コロナウイルス感染症の入院患者さんの診療を担当して診療の手順・フローチャート・治療法のまとめを作成しました。その他、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎に最新の治療薬を活用し、呼吸不全に対して非侵襲的人工呼吸療法やネーザルハイフロー療法を積極的に使用して呼吸ケアチームに参加し、県の難病審査会の委員を務めています。このように呼吸器の病気の何でも屋で、どれが専門と言えず、各分野の枠を越境してエビデンスやガイドラインに基づいた高度な専門医療を目指しています。

当科の医師は、気管支鏡、CTガイド下生検、局所麻酔下胸腔鏡などの優れた診断技術を持っており、発展している分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬を含めた薬物療法の知識や経験が豊富です。また、それぞれ診療レベルの高い呼吸器外科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、緩和ケア科などとスムーズに連携し、手術、放射線治療、緩和医療へご紹介しています。したがって、患者さんを診ることに加えて、私の使命は医師が十分

医師ではない私の素顔

「おもしろい」と思うものはお笑い・マンガ・教養を含めて何でも好きです。手塚治虫のサインは宝物です。中学と高校では吹奏楽で打楽器を演奏し、いろいろな音楽を聴きます。約40年前にまだ珍しかったパソコン(最初期のPC-9801)を、新しい世界と感じてバイト代をつぎ込みいち早く購入し、その頃に期待したものの限界があったAI(人工知能)が最近発展しており興味があります。ネットと違い思いがけない本の発見があるため、本屋に行くとなあという間に時間が過ぎます。



替え歌で有名な嘉門タツオ氏とは同じ中学です



藤子不二雄Aの笑わせえるすまん



手塚治虫のサインとブラックジャック

呼吸器の病気に殺されない7つの習慣 <いきいき1週間>

- ① 元気だと思ってもかくれてる肺の病気に健康診断
- ② 感染を防ぐためには肺炎とインフルエンザのワクチン接種
- ③ 水道で手洗いうがいしよくかんで食べた後にはきれいに歯みがき
- ④ 黙々とせずししゃべって歌いましょうのどを鍛えて誤嚥の予防
- ⑤ 禁煙は遅くはないよこれまでに十分吸ったしもう卒業だ
- ⑥ どのような検査や治療があるのかなしっかり知って納得しよう
- ⑦ じっくりと笑って動いてよく食べてぐっすり眠って免疫アップ

50周年記念講演会の市民講座

に実力を発揮して成長できるようにマネジメントを行うことです。具体的には、心理的安全性が高い環境を作り、チーム医療として適切なコミュニケーションを取り、医療情報の活用と暗黙知・経験知の形式知への変換によりプロセスの改善・標準化とルーティンワークの効率化を進め、リスクマネジメントにより想定されるリスクを未然に防ぐことなどです。

呼吸器が専門でない先生や一般の方へのわかりやすい説明も大切と考え、50周年記念講演会の市民講座で「呼吸器の病気に殺されない7つの習慣<いきいき1週間>」を講演、書籍「県民の元気をささえる— Q&A方式 滋賀県立総合病院の最新医療」で肺がん、COPD、誤嚥性肺炎に関して執筆、「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」で治療に関して執筆し、新聞や地域情報誌の取材を受けました。当院の英語表記Shiga General Hospital=SGHから、Safely Growing Heart(安全に成長する心)というキャッチフレーズを提唱しています(非公認)。

読者の皆様へひとこと

「生きる」の語源は「息をする」でふつうは無意識に息をしていますが、呼吸器の病気になると息が苦しくなり生きることが苦しくなることがあります。肺がんの場合は息が苦しくなくても生きることが苦しくなることがあります。

苦しくなった時は、ひと息入れて休み、生きることを輝かせる自分らしい生きがいを見いだせれば、いきいきとした満ち足りた毎日を過ごせるのではないのでしょうか。

そのお手伝いのために、身近で頼りになる先生とも協力して、病気と闘う方法や苦しさをやわらげる方法を患者さんやご家族と一緒に考えていきたいと思います。

安全な医療のための取り組み

～しっかりと伝えて、正しく理解していただく～

■しっかりと伝える

「○子さんの作ったみそ汁…飲みたい…」と男性が言うと、女性はみそ汁を出してくれましたが、実はプロポーズの意味であったことが伝わりませんでした(高橋留美子「めぞん一刻」)。これは次の段階に進むのが遅れただけですが、放射線画像検査で、本来の検査目的ではない予期せぬ重要所見、特に悪性腫瘍(疑いを含む)を診断医が見つけた場合は、その報告書の内容が依頼医にしっかりと伝わらないと、患者さんの治療の遅れにつながります。



×依頼医は報告書を読んでいなかった

＜原因＞検査目的の部位の画像だけ見た
→○報告書を読むように促され、読むとボタンを押し、未読なら管理者から促される

×依頼医は報告書を読んだが、重要所見を見落とした

＜原因＞検査目的の部位の記載だけ注目し、重要所見を認識できなかった
→○わかりやすい表現、適切に対応するまで管理者が追跡、緊急所見は電話連絡

■正しく理解していただく

まずは、次を読んでください。

DHMO(ダイハイドロジェンモノクサイド)の危険性

- ・常温では液体で、無色透明で味やにおいはない
- ・自然界に存在し、庭・台所・浴室などでも見つかри、いつの間にか接触している
- ・吸い込んで肺に入ると呼吸不全になり、高齢者は1年間で数千人死亡している
- ・発汗、多尿、腹部膨満感、嘔吐、電解質異常、むくみ、心不全、意識障害を起す
- ・がん細胞に認められ、取り除くとがん細胞は死滅する



DHMOに危険性があることがよくわかったと思います。

では、次を読んでください。

一酸化二水素液を飲むことの有用性

- ・血中のDHMOや老廃物を尿に排出させることができ、腎臓の働きを保つ
- ・すべての臓器の働きに利用され、健康で長生きするために役立つ
- ・脳梗塞、心筋梗塞、熱中症の予防や治療に効果が期待できる
- ・痰を出しやすくして気道の衛生を維持できる
- ・肌をきれいに保つ
- ・適量であれば副作用がなく医学的に有用性が証明されている



一酸化二水素液を飲みたくなっただけでしょうか？

お気づきの方もおられると思いますが、DHMO = 一酸化二水素 = H₂O = 水です。わざと惑わすように書いたのですが、「見たいようにしか見ていない」という心理が関わっています。詳しく言いますと、選択的注意(あるものに注目すると他のものが見えない)、認知容易性(慣れ親しんだものが好き)、確認バイアス(思い込みに合う情報ばかり集める)という認知バイアス(思考や判断の偏り)により、正しく理解できないということが起こります。

したがって、薬などの治療を正しく理解していただくためには、良い点と悪い点を含めた偏りのない知識・情報を、患者さんやご家族に提供することが大切と考えています。

滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)

〒524-8524 滋賀県守山市守山五丁目4番30号
電話077-582-5031(代表)

滋賀県立総合病院ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>



※本誌へのご意見や感想等をぜひお寄せください。

FACELがネット受付サービス

<https://tzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys/8124789265493085857>



〈院内紹介動画を配信中!〉

当院を支えるスタッフの仕事風景などを動画で紹介しています。ぜひご覧ください。



当院ホームページURL

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/center/322221.html>

